

浦幌町立博物館だより

2024(令和6)年3月号



編集・発行: 浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎ 015-576-2009 / ✉ info@museum-urahoro.jp

写真を読み込んでわかること



拡大



上の写真は当館所蔵の浦幌駅の写真です。この1枚の写真から読み取れることは何でしょうか？

拡大すると、大きな荷を背負った女性と、なにやら客車の前でやりとりしている制服姿の男性がいることがわかります。

大きな荷を背負った女性は、行商人です。その姿から「担ぎ屋」とも呼ばれていました。釧路の港から新鮮な魚や野菜などを仕入れては、汽車に乗って浦幌まで売りに来ていた人達です。ということは、この列車は釧路か

ら帯広方面へ向かう上り列車である事を示しています。

制服姿の男性は、郵便局員です。腰に書留鞆、肩から郵便鞆を下げています。

日本の郵便は、1872(明治5)年から1986(昭和61)年まで、鉄道で輸送していました。列車には「郵便車」が連結され、車内で郵便物の仕分けを行う「走る郵便局」でした。この男性の足元には郵袋(郵便物を入れた袋)が置かれており、車内の郵便局員と郵便物をやりとりしているようです。

この写真の撮影年月日は記録されていません。写真には跨線橋が写っており、浦幌駅の跨線橋は1966(昭和41)年12月設置なので、それ以降の撮影になります。いっぽう、駅舎は1978(昭和53)年11月に改築されており、跨線橋と旧駅舎が両方写っていることから、この写真は1966~78(昭和41~53)年の間に撮影されたものと特定することができます。

当時の風俗や物流の姿を能弁に語ってくれる、とても良い写真です。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

謎の厚内地図



北町の川田秀幸さんから、手描きの厚内地図を寄贈いただきました。いつ、何の目的で作られたものか不明。これから謎を解きます。(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

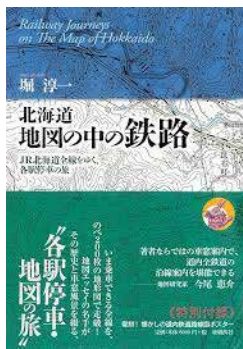
Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

北海道 地図の中の鉄路

堀 淳一著

2014年 亜細西社発行 415頁



国土地理院の地形図をたどりながら北海道中の鉄道の歴史や沿線の景観を知ることができます。地図は眺めるものではなく「読み解いて楽しむもの」という、地図の面白さを鉄道を通じて感じられるのがこの一冊です。

著者の堀さんは北大の物理学者でしたが、地図が大好き。趣味で地図研究を続けて、地図に関する本をたくさん書きました。亡くなる前、本書の内容について問い合わせをしたのが、やりとりをした最後になり、私にとって著者との思い出の一冊でもあります。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田 誠)

【配架場所】

地理・地図

分類 686.2.ホ

3月の博物館お知らせ

企画展

ひな人形展

2月15日(木)

3月20日(水)

10:00~18:00 場所:博物館ロビー

博物館所蔵のひな人形を展示します。



移動博物館

春の渡り鳥観察会

3月23日(土) 9:00~12:00

集合: 9:00 博物館

講師: トリオばさん

定員: 8名(要申し込み)



北へ帰る渡り鳥、マガンやヒシクイ、シジウカラガンやハクガンを探しながら観察します。

企画展

浦幌・十勝の鉄道120年

3月2日(土)

4月14日(日)

10:00~18:00

場所:博物館ロビー



★関連講座★

十勝の鉄道120年～鉄道史資料の保存～

3月10日(日) 14:00~15:30

場所: 博物館常設展示室・企画展

講師: 持田誠(当館学芸員)

申込不要・無料

浦幌～音別開業120年の歴史と、鉄道史に関する資料保存の現状や課題についてご紹介します。

浦幌のアイヌ資料を東京で展示します

国立アイヌ民族博物館ネットワーク「プンカラ」協働展示として、「アイヌの建築と工芸の世界」展が、東京都文京区の文化庁国立近現代建築資料館で開催されています。

当館やラポロアイヌネイションのアイヌ資料も、本展で展示されています。関東地方へお住まいの方に、ぜひご案内ください。



入館料: 無料

開館時間: 10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

3月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日: 月曜日・祝日の翌日

3月29日は月末資料整理日のため、図書館・博物館ともに休館します。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約30分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広～浦幌間 1290円(片道)
釧路～浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)

E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp